

第1回徳島県水道広域化推進プラン検討委員会概要

○日 時 令和4年11月11日（金）10：00～

○場 所 徳島県万代庁舎 4階 405会議室

○出席者 上月委員，真鍋委員，佐野委員

○発言概要

- ・事業体によって広域化がメリットになる場合と、そうでない場合があり，市町村間で温度差があると思うので，県全体で考え，市町村に取り組んでいただけるような計画にしてほしい。
- ・見せ方の問題ではあるが，将来推計の項目での削減額が大きいので，広域化の効果による削減額がインパクトに欠ける。
- ・広域化について，先進事例を聞いたが，鳴門市・北島町のような本格的なものもあれば，共同発注もあるので，様々なレベルで，少しずつでも提案しながら進めていただきたい。
- ・管路などの更新が進んでおらず，地震による大規模な断水などのリスクがあり，3日分の水を備蓄することは広報されているが，3日間で復旧はできるはずがなく，危機感が県民に浸透していないため，現状をしっかりと周知する必要がある。
- ・共同化に向けた取組みについては，鳴門市・北島町で約10年，他県でも約9年かかっており，南海トラフ巨大地震の発生を考えると，取組開始時期が来ている。
- ・消費者向けに説明できるような資料を作っていただきたい。
- ・ブロック会議の中で，各自事業体ごとの課題について把握して検討を進めてほしい。
- ・今後の共同事業について，各事業体のシステム更新時期や主要施設等の更新時期を調査し，より具体的に検討できるような土壌を整えてほしい。
- ・人材育成などの平時からの連携についても，広域化を見据えて取り組みを進めてほしい。